

2023
9月号

福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

〈人事院勧告〉

中高年層の生活困窮を無視した人事院勧告 ～3,869円(0.96%)、ボーナス0.1月分改善～

行政職俸給表(一)									
職等	給与	職等	給与	職等	給与	職等	給与	職等	給与
1	257,000	1	257,000	1	257,000	1	257,000	1	257,000
2	262,000	2	262,000	2	262,000	2	262,000	2	262,000
3	267,000	3	267,000	3	267,000	3	267,000	3	267,000
4	272,000	4	272,000	4	272,000	4	272,000	4	272,000
5	277,000	5	277,000	5	277,000	5	277,000	5	277,000
6	282,000	6	282,000	6	282,000	6	282,000	6	282,000
7	287,000	7	287,000	7	287,000	7	287,000	7	287,000
8	292,000	8	292,000	8	292,000	8	292,000	8	292,000
9	297,000	9	297,000	9	297,000	9	297,000	9	297,000
10	302,000	10	302,000	10	302,000	10	302,000	10	302,000
11	307,000	11	307,000	11	307,000	11	307,000	11	307,000
12	312,000	12	312,000	12	312,000	12	312,000	12	312,000
13	317,000	13	317,000	13	317,000	13	317,000	13	317,000
14	322,000	14	322,000	14	322,000	14	322,000	14	322,000
15	327,000	15	327,000	15	327,000	15	327,000	15	327,000
16	332,000	16	332,000	16	332,000	16	332,000	16	332,000
17	337,000	17	337,000	17	337,000	17	337,000	17	337,000
18	342,000	18	342,000	18	342,000	18	342,000	18	342,000
19	347,000	19	347,000	19	347,000	19	347,000	19	347,000
20	352,000	20	352,000	20	352,000	20	352,000	20	352,000
21	357,000	21	357,000	21	357,000	21	357,000	21	357,000
22	362,000	22	362,000	22	362,000	22	362,000	22	362,000
23	367,000	23	367,000	23	367,000	23	367,000	23	367,000
24	372,000	24	372,000	24	372,000	24	372,000	24	372,000
25	377,000	25	377,000	25	377,000	25	377,000	25	377,000
26	382,000	26	382,000	26	382,000	26	382,000	26	382,000
27	387,000	27	387,000	27	387,000	27	387,000	27	387,000
28	392,000	28	392,000	28	392,000	28	392,000	28	392,000
29	397,000	29	397,000	29	397,000	29	397,000	29	397,000
30	402,000	30	402,000	30	402,000	30	402,000	30	402,000
31	407,000	31	407,000	31	407,000	31	407,000	31	407,000
32	412,000	32	412,000	32	412,000	32	412,000	32	412,000
33	417,000	33	417,000	33	417,000	33	417,000	33	417,000
34	422,000	34	422,000	34	422,000	34	422,000	34	422,000
35	427,000	35	427,000	35	427,000	35	427,000	35	427,000
36	432,000	36	432,000	36	432,000	36	432,000	36	432,000
37	437,000	37	437,000	37	437,000	37	437,000	37	437,000
38	442,000	38	442,000	38	442,000	38	442,000	38	442,000
39	447,000	39	447,000	39	447,000	39	447,000	39	447,000
40	452,000	40	452,000	40	452,000	40	452,000	40	452,000
41	457,000	41	457,000	41	457,000	41	457,000	41	457,000
42	462,000	42	462,000	42	462,000	42	462,000	42	462,000
43	467,000	43	467,000	43	467,000	43	467,000	43	467,000
44	472,000	44	472,000	44	472,000	44	472,000	44	472,000
45	477,000	45	477,000	45	477,000	45	477,000	45	477,000
46	482,000	46	482,000	46	482,000	46	482,000	46	482,000
47	487,000	47	487,000	47	487,000	47	487,000	47	487,000
48	492,000	48	492,000	48	492,000	48	492,000	48	492,000
49	497,000	49	497,000	49	497,000	49	497,000	49	497,000
50	502,000	50	502,000	50	502,000	50	502,000	50	502,000
51	507,000	51	507,000	51	507,000	51	507,000	51	507,000
52	512,000	52	512,000	52	512,000	52	512,000	52	512,000
53	517,000	53	517,000	53	517,000	53	517,000	53	517,000
54	522,000	54	522,000	54	522,000	54	522,000	54	522,000
55	527,000	55	527,000	55	527,000	55	527,000	55	527,000
56	532,000	56	532,000	56	532,000	56	532,000	56	532,000
57	537,000	57	537,000	57	537,000	57	537,000	57	537,000
58	542,000	58	542,000	58	542,000	58	542,000	58	542,000
59	547,000	59	547,000	59	547,000	59	547,000	59	547,000
60	552,000	60	552,000	60	552,000	60	552,000	60	552,000
61	557,000	61	557,000	61	557,000	61	557,000	61	557,000
62	562,000	62	562,000	62	562,000	62	562,000	62	562,000
63	567,000	63	567,000	63	567,000	63	567,000	63	567,000
64	572,000	64	572,000	64	572,000	64	572,000	64	572,000
65	577,000	65	577,000	65	577,000	65	577,000	65	577,000
66	582,000	66	582,000	66	582,000	66	582,000	66	582,000
67	587,000	67	587,000	67	587,000	67	587,000	67	587,000
68	592,000	68	592,000	68	592,000	68	592,000	68	592,000
69	597,000	69	597,000	69	597,000	69	597,000	69	597,000
70	602,000	70	602,000	70	602,000	70	602,000	70	602,000
71	607,000	71	607,000	71	607,000	71	607,000	71	607,000
72	612,000	72	612,000	72	612,000	72	612,000	72	612,000
73	617,000	73	617,000	73	617,000	73	617,000	73	617,000
74	622,000	74	622,000	74	622,000	74	622,000	74	622,000
75	627,000	75	627,000	75	627,000	75	627,000	75	627,000
76	632,000	76	632,000	76	632,000	76	632,000	76	632,000
77	637,000	77	637,000	77	637,000	77	637,000	77	637,000
78	642,000	78	642,000	78	642,000	78	642,000	78	642,000
79	647,000	79	647,000	79	647,000	79	647,000	79	647,000
80	652,000	80	652,000	80	652,000	80	652,000	80	652,000
81	657,000	81	657,000	81	657,000	81	657,000	81	657,000
82	662,000	82	662,000	82	662,000	82	662,000	82	662,000
83	667,000	83	667,000	83	667,000	83	667,000	83	667,000
84	672,000	84	672,000	84	672,000	84	672,000	84	672,000
85	677,000	85	677,000	85	677,000	85	677,000	85	677,000
86	682,000	86	682,000	86	682,000	86	682,000	86	682,000
87	687,000	87	687,000	87	687,000	87	687,000	87	687,000
88	692,000	88	692,000	88	692,000	88	692,000	88	692,000
89	697,000	89	697,000	89	697,000	89	697,000	89	697,000
90	702,000	90	702,000	90	702,000	90	702,000	90	702,000
91	707,000	91	707,000	91	707,000	91	707,000	91	707,000
92	712,000	92	712,000	92	712,000	92	712,000	92	712,000
93	717,000	93	717,000	93	717,000	93	717,000	93	717,000
94	722,000	94	722,000	94	722,000	94	722,000	94	722,000
95	727,000	95	727,000	95	727,000	95	727,000	95	727,000
96	732,000	96	732,000	96	732,000	96	732,000	96	732,000
97	737,000	97	737,000	97	737,000	97	737,000	97	737,000
98	742,000	98	742,000	98	742,000	98	742,000	98	742,000
99	747,000	99	747,000	99	747,000	99	747,000	99	747,000
100	752,000	100	752,000	100	752,000	100	752,000	100	752,000

(抜粋)国家公務員俸給表(表の単位 百円 %)

人事院は8月7日(月)に2023年人事院勧告を国会と内閣に提出しました。今年の勧告は春闘期に民間労働者が闘った結果を踏まえて、これまでにない引き上げの勧告をしました。しかし残念ながら生活が改善できる実質賃金には届いていません。また「公務員の人事管理に関する報告」が勧告されました。

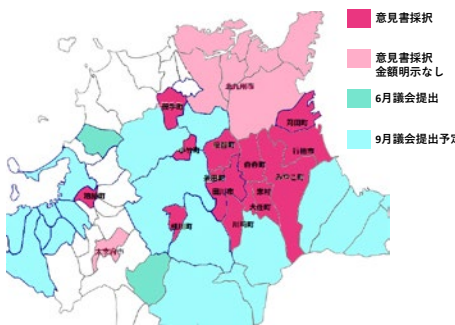
初任給は引き上げ
たものの、中高年
には厳しい勧告

8月7日に出された人事院勧告は、26年ぶりに1%近い改定率でした。公務員と民間労働者の較差は、月例給、ボーナスともにプラス(民間労働者の方が高い)となり、人事院は3,869円(0.96%)、ボーナスは0.1%月分の改善を勧告しました。しかしながら、今年の勧告は、物価上昇分にも満たず、生活に困窮する職員の生活改善に及ばない結果となりました。今回の高卒初任給12,000円、大卒初任給11,000円引き上げのように、これまでになく引き上げた背景には、国家公務員志望者の減少、若年層職員の中途退職の増加に歯止めをかけること、最低賃金改定の全国平均1,002円(4.3%)引き上げがあり、初任給をはじめとした若年層の引き上げ額は評価できるものの、年齢が上がるにつれて改定率を減少した結果、医療費や教育費にお金が必要な中高年層の改定額がいずれも1,000円程度と極めて不十分な給与勧告になっていきます。全世代が十分に生活改善できる引き上げ額にならなかった要因は、「民

福岡地区労連が福岡県労連と共同で進めている最低賃金引き上げの意見書の請願を粕屋町議会に審査することとなりました。紹介議員には、最大会派の緑葉会(過半数会派)から井上正宏議員と古家昌和議員です。

福岡県労連は、3月から玖村事務局次長が最低賃金引き上げの意見書請願で筑豊地区、

〈粕屋町議会最賃引き上げ意見書請願〉 全国一律最低賃金引上げ 県内自治体議会から意見書ぞくぞく



最低賃金1500円をめざす自治体意見書採択

京築地区すべての自治体議会を対象にして進め、これまで13議会ですべて採択されました。意見書のポイントは、「①最低賃金を1,500円に引き上げること。②全国一律最低賃金を実現すること。③最低賃金引き上げに中小企業支援を同時に進めること。」となっており、13議会の意見書にはすべて盛り込まれています。

13議会で見えてきたものは、ローカル地域では高齢化が進み、医療、介護、保育などの地域住民を支える仕事に若い世代の人材不足が深刻化していることから、最賃引き上げは、地域雇用活性化と若い世代の流出を留める重要な位置づけとされています。

粕屋町は、人口が増えていますが、賃金を引き上げて経済の好循環を作ることが必要とされ、そのための中小企業支援は不可欠であるとされています。意見書の採決は、定例議会終了日の9月20日です。(編集委員 内田)

間準拠」方式にあります。本来の「公務員労働者の生計費」を最重要点にして決定すべきです。

公務員に大企業の利益を求める「骨太方針」

人事院勧告前の6月に出された経済財政諮問会議の「骨太方針」の中心課題は「第2章新しい資本主義の加速」の「1.三位一体の労働市場改革」であり、企業に「職務給(ジョブ型)の導入を求め、労働者には転職・移動させることを記述しています。最後の「8、国家公務員の育成・評価に関する仕組みの改革」と特記されていることから、労働市場改革の実践を国家公務員にも求めています。

民間企業から総裁に就任した川本人事院総裁は、公務員の賃金を「年功序列」から「職務給」にすると表明しています。初任給や若年層の改定率を引き上げ、中高年齢層を抑制すれば必然的に「給与力」はフラット化される「職務給」になります。

人事院総裁談話での「官民の垣根を超えた人材交流」は、すでにアメリカで多用されている政治家と公務員の「回転ドア」が想定できます。憲法第15条に規定されている公務員は「国民」全体の奉仕者であって、一部(大企業)の奉仕者ではないことから、企業の利益を優先する「回転ドア」は、日本では憲法の規定上許されない制度です。

今後「給与法」として国会に上程され、国会での取扱いにたかいた場合移ります。

(編集委員 恵藤)



俸給表は
こちらから

〈福岡県労連第34回定期大会・佐賀空港新駐屯基地建設問題〉

日本の空にオスプレイはいらない

福岡県労連は、第34回定期大会を8月27日オンライン併用で開催しました。大会には49名の代議員が参加しました。福岡地区労連からは、松尾幹事より平和運動の報告がありました。大会では、一年間の運動総括の報告と来期の運動方針を満場一致で採択しました。



佐賀県弁護士会館に集まった九州各地の支援者

福岡県労連の2023年度の運動方針で採択された中に、「憲法と国際平和を守る」という項目があります。今、日本と国際平和をめぐる情勢は、ロシアのウクライナ侵略を端として、国内でも核共有の議論が起きているなど緊迫しています。日本は、防衛力の抜本的

強化といい、私たちのいのちと平和と暮らしは脅かされています。私たちはこれまで以上に軍備増強反対を強く求めていかなければなりません。福岡地区労連では、九州全域ひいては日本の平和に関わる重要な裁判と位置付けて、佐賀空港の新駐屯基地建設

8月29日に、佐賀空港の新駐屯基地建設の即時停止を求める仮処分申立書が、佐賀地裁に提出されました。同日、佐賀県弁護士会館にて日本全国から軍事裁判に関わっている精鋭10人以上の弁護士と地権者の古賀初次さんらによる報告集会・記者会見が行われました。今回の裁判は、土地の所有権が漁協にあるのか、地権者にあるのか最大の争点となります。申立書には、漁協は便宜的に買受名義人になったに過ぎず、実質的な所有権者は、土地の分配を受け

た個々の漁業者であると説明しています。事実、防衛省が個々の地権者ら宅を訪問して、売却交渉を行っていることから明らかです。記者会見では、古賀初次さんへの質問が相次ぎ、「オスプレイは佐賀の空にいらぬ」「日本の空にオスプレイはいらない」と強く訴えていました。福岡地区労連は、市民の会への加盟を呼びかけています。九州の団結の力を佐賀県に届けましょう。

(編集委員 松尾)

〈労働組合と地球環境問題を考える⑬〉

地球沸騰化の時代が到来

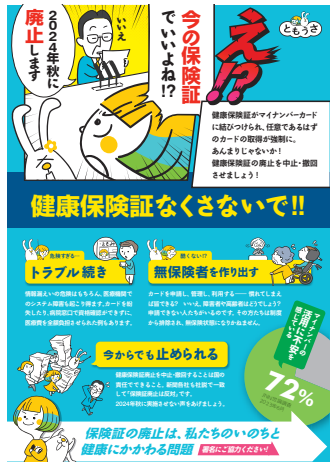
7月27日、国連のグテレス事務総長は7月の世界気温が12万年ぶりの暑さで、世界を覆う熱波を受けて「温暖化の時代ではなく、地球沸騰化の時代

が到来した」「異常気象が新たな日常」になりつつあると言及しました。世界気象機関(WMO)と欧州連合(EU)の気象情報機関「コペルニクス気候変動サーブिस(CS3)」は、2023年7月の世界平均気温が観測史上で最高となる見通しであることと、高温について人為的な温室効果ガ



スの排出が主因になっているとの見方を示しました。異常気象を分析する国際研究グループ「ワールド・ウエザー・アトリビューション」は、今年6月に

は、健康保険書誤登録、銀行の紐付け、情報漏洩など様々なトラブルが噴出し、河野太郎デジタル担当大臣の閣僚給与3カ月返納の事態に発展しています。福岡地区労連は、全労連が取り組みを始めた「現行の健康保険証を残してください」請願書名に力を入れます。政府は、今年6月に



全労連が行っている署名チラシ

いのちを脅かす健康保険証の廃止は撤回を

健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードの一本化をする法律を成立させましたが、様々なトラブルで国民の不安は一層高まるばかりです。健康保険証が廃止されれば、認知症の方や障がい者の方など生活弱者の方が取り残されかねず、国民皆保険制度が崩壊しかねません。また、他人の名前で登録され、薬を間違

って処方されようとする事態も起こっており、国民のいのちと健康を脅かす制度は見直すべきです。

7月のNHK世論調査では、健康保険証の廃止について、延期と撤回を合わせると7割を超えています。政府は、多くの国民が求めていることから、マイナンバーカードの一本化を止め、現行の健康保険証残すのは当然です。加盟組合で署名のご協力をお願いいたします。

(編集委員 内田)



署名用紙はこちらから

今後のスケジュール

●福岡県総がかり

実行委員会

10月15日(日) 14:00~16:00

警固公園

●第34回福岡地区労連

定期大会

10月22日(日)

受付12:30

開会13:00

閉会17:00

県労連大会議室
WEB併用

(編集委員 恵藤)